

特集

通信ビジネスの新商材!?

# BBフォンの全貌

3分7.5円 ソフトバンクグループが4月25日から提供を始めたIP電話サービス「BBフォン」は、既存の電話なら市内通話レベルの料金を、日本全国さらに米国向け国際電話でも実現した。よくも悪くも話題の絶えないソフトバンク。通信分野では、ADSLサービス「Yahoo!BB」で破格の料金を打ち出し、ブロードバンドに対する市場の関心を一気に高める役割を果たしたが、「申し込んだのにつながらない」といったクレームが多発し、スタートでつまづいた。それでも、NTTを東西に分ければ、今やADSL市場でトップレベルの実績をあげている。BBフォンは、このADSLサービスを基盤に展開される。他を圧倒するコストメリットという強力な武器を持つが、“前例”で露呈した業界経験の浅さが不安材料でもある。通信関連の販売業者にとって、BBフォンは有力な商材となり得るのか。サービスの仕組みと販売現場の滑り出しの様子を探った。

(本誌・伊藤秀樹 / 長谷川丈一)



## 端末から操作まで利用者負担を削減 “常識外れ”の法人向け料金も準備

IP電話で格安料金、加入者間は無料。ただし、電話機もダイヤル操作も従来と変わらない。BBフォンの特徴を一言でいうとこうなる。パート1では、BBフォンのサービス内容、システム構成、利用方法等を通して、その特徴をみていくことにする。

### 価格戦略を初期費用にも拡大

まず、BBフォンが4月25日に商用サービスを開始するまでの経緯を押さえておこう。

BBフォンの市場投入は、昨年12月にヤフー、ソフトバンクグループ、BBテクノロジーが「Yahoo! BB」ユーザーのモニターを対象に開始した試験サービスに遡る。当時のアナウンスには、2002年春からの商用開始と、そのサービス内容が記されていた。

サービス品質や運用保守といった技

術的特性、市場ニーズの調査などを目的にした試験サービスは、最終的に約5万3000人のモニターを集めたという。商用サービスは、この十分な成果を踏まえて開始された。注目点は、サービス内容が当初の計画から変更されていることだ。

国内一律3分7.5円・米国向けも3分7.5円（課金は1分単位）加入者間無料といった通話料金体系は変わらないが、初期登録費用として予定していた3980円を「不要」にした。

また、月額基本料金の390円につい

ても、Yahoo! BB加入者に対してはBBフォンを“標準サービス”と位置付けることで無料にする一方で、新たに電話のみ利用できる「単独サービス」を設け、その基本料金を390円に設定している。

破格の通話料にイニシャルコストのインパクトを加え、さらにはブロードバンドサービスの顧客囲い込み策にも活用したわけだ。

さらにBBテクノロジーでは、商用サービス開始に合わせて「BBフォンモニターキャンペーン」を大々的に打ち出した。

これは、BBフォンまたはYahoo! BBの新規加入者先着30万名を対象に、通話料以外の費用 初期費用（ADSL新規加入時のNTT契約料・局内工事料に相当）3600円のほか、BBフォン月額基本料金、接続機器レンタル料金、およびNTT回線使用料等を含めた月額固定料金1253円を最大2カ月分無料、Yahoo! BBにも新規加入すれば、さらにADSLサービス料、ISPサービス料合計2280円の最大2カ月分も無料とするもの。

自腹を切ってもユーザーを獲得戦略は、特段変わったことではない。しかし、その目標が30万というのは、通信業界に限らず桁違いの数字だ。

### 使い勝手は既存電話のまま

では、具体的なサービス利用の仕組みをみていくことにしよう。

BBフォンは、ADSLをアクセス回線とする「Phone to Phone型」のIP電話サービスで、既存のアナログ電話機、そして電話番号も変更することなく利用できる点が特徴だ。

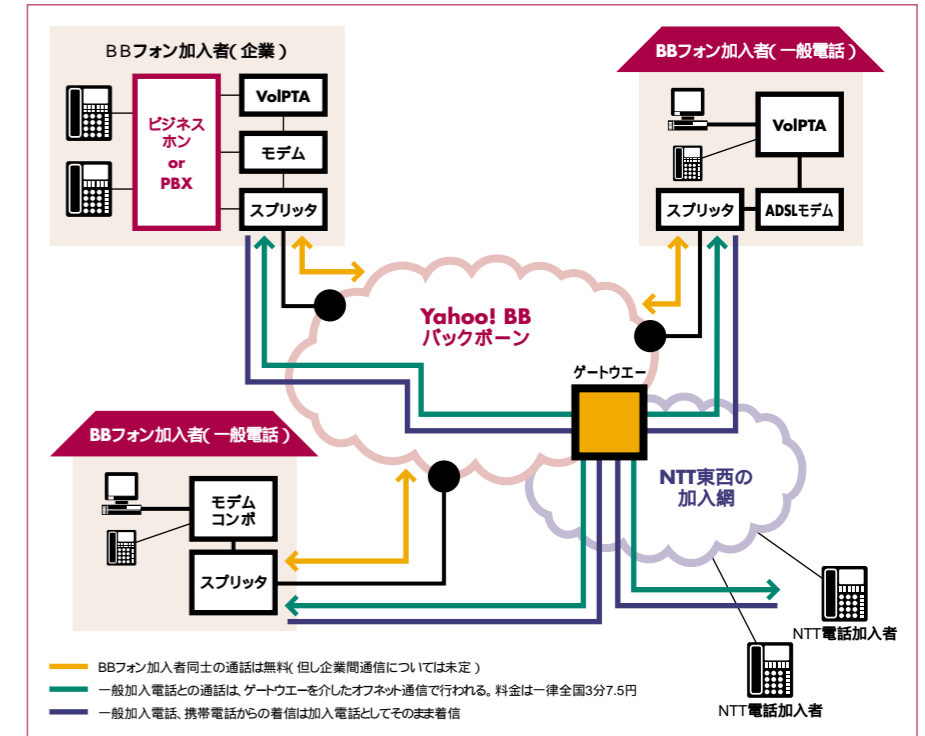
局線側と端末の接続には、月額690円でBBテクノロジーからレンタル提供されるVoIP機能を備えたBBフォンモデムコンボ（モデム・TA一体型）もしくはBBフォンターミナルアダプター（すでにADSLモデムを利用している場合）およびスプリッタが使われる。

ADSL回線は、アナログ電話と重畳利用するタイプ1に限定される。データ通信専用のタイプ2では電話番号が割り当てられないからだ。したがって、ユーザー側には、BBフォンの利用料金とは別にNTTの基本料金がかかる。

そして、ADSL回線の事業者はYahoo! BBのみの対応となっている。つまり、先述のBBフォン「単独サービス」利用者も、ADSLでインターネットを使いたい場合の選択肢はYahoo! BBに限定されることになる。

BBフォンからの発信は、国際電話も含めて従来と同じダイヤル操作で行える。音声はモデムコンボ・TAの部分でIPパケット化され、ADSL回線からYahoo! BBのIPバックボーンを經由し、相手先が一般加入電話であればゲートウエーを介して加入電話網へ

図1 BBフォンのサービスイメージ



抜け国内3分7.5円の通話となり、BBフォンユーザーであれば着側のADSL網を通じたエンド・エンドのVoIP通信で通話料無料となる。

通話先が一般電話加入者かBBフォン加入者かの識別は、「ネットワーク側に顧客データベースを設置しており、電話番号とユーザーのIPアドレスを照合させる仕組み」（ソフトバンク広報部）になっており、ユーザー側には、電話の呼び出し前に鳴らされる接続音の回数と接続機器のLEDランプによって通知される。

IP電話サービスの課題の1つである緊急電話（110番、119番等）への発信については、モデム・TAによって加入電話へ振り分けることで対応して

いる。また、ダイヤル時に電話番号の前に「0000」を付ければ、加入電話経由での通話となる。

では、携帯電話・PHSへの発信はどうなるのか。商用化前は加入電話経由となっていたが、BBフォンのサービス範囲に加えられた。これに伴って、通話料金も、携帯電話へは8時～23時まで25円/60秒、23時～8時まで20



BBフォンで利用するモデムコンボ

### BBフォンの一般家庭向けサービスの料金体系

項目	Yahoo BBユーザーの場合	BBフォン単独利用の場合
月額固定費用		
Yahoo! BB ADSLサービス料	990円	-
Yahoo! BB ISPサービス料	1290円	-
BBフォン基本料	-	390円
NTT回線使用料	173円	173円
接続機器レンタル料金	690円	690円
合計	3143円	1153円
通話料		
BBフォン加入者同士の通話	無料	
一般加入電話への通話	国内一律7.5円/3分	
国際通話(アメリカ本土の場合)	7.5円/3分(国際通話は1分毎の料金設定)	
携帯電話への通話	8:00~23:00まで25円/60秒、23:00~8:00まで20円/60秒	
PHSへの通信	10円/60秒+1通話ごとに10円	

別途NTTの月額基本料金が発生